

授業科目名	動物栄養学Ⅰ	科目コード	261005		
開講クラス	動物看護師学科	コース	動物看護師コース	学 年	1年
担当教員	猪野 亜里沙				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) 実務経験内容 愛玩動物看護師 ペット栄養管理士 臨床栄養指導認定動物看護師1級 大学卒業後約1年間動物園で勤務 臨床栄養指導認定動物看護師1級の受験経験を活かし、また動物園での動物飼育、看護方法を授業に取り入れている				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	犬と猫の栄養学			
	著 者	奈良 なぎさ			
	出版社	株式会社緑書房			
使 用 テキスト2	書 名	愛玩動物看護師の教科書第2巻			
	著 者	編：緑書房編集部			
	出版社	株式会社緑書房			
参考図書	基本からよくわかる犬と猫の栄養管理				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標></p> <p>5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを習得する。</p>					
<p><授業の概要・授業方針></p> <p>まず前期では、5大栄養素とエネルギーの役割やそれぞれの特性といった基礎知識を学び、後期ではペットフードの種類や家庭用食材での与えてはいけない食物、犬と猫の食性の違いやライフステージ、疾病と栄養の関係を学習する。そして、栄養学の十分な知識を身に付けることで動物の健康管理にもつながることを理解させる。</p>					
<p><成績基準・評価基準></p> <p>前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p> <p>通年の評価は、前期と後期の本試験の点数の平均を算出し、その平均点が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とする。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

動物形態機能学、愛玩動物学

授業科目名		動物栄養学 I
回	授 業 内 容	備 考
1	栄養学概論、学習目標	
2	栄養と栄養素	
3	エネルギーバランス/BCS	
4	エネルギー要求量①	
5	エネルギー要求量②	
6	6大栄養素/水	
7	炭水化物①	
8	炭水化物②	
9	たんぱく質①	
10	たんぱく質②	
11	脂肪①	
12	脂肪②	
13	ビタミン①②	
14	ミネラル①②	
15	前期まとめ、前期の復習	
16	消化吸収①②	
17	犬と猫の違い 食性	
18	犬と猫との違い 嗜好と嗜好性	
19	犬と猫との違い 代謝および養分要求量	
21	ペットフード 家庭用食材 犬や猫に与えてはいけないもの	
22	ペットフード 歴史と種類 品質 安全保障	
23	ペットフードのラベルについて	
24	ペットフードの選択①②	
25	ペットフードの選択③	
26	ライフステージと栄養 母犬・母猫	
27	ライフステージと栄養 子犬・子猫	
28	ライフステージと栄養 成犬・成猫	
29	ライフステージと栄養 老犬・老猫	
30	後期まとめ/全体まとめ	